日本学術会議第二部冬季公開シンポジウム

「明日に向かって生命をつなぐ－生命科学の最前線－」

１．主催　日本学術会議第二部
２．後援　日本医歯薬アカデミー、科学新聞社
３．日時　平成 20 年 2 月 5 日（火）13:00～17:30
４．場所　日本学術会議講堂
５．次第

【開催趣旨】

近年、生命科学は目覚ましい進歩を遂げている。本シンポジウムでは、生命の本質がどこまで明らかになったのか、人の幸福に資する生命科学は、今後どう進むかを生物学の研究者が最新情報を解説する。さらに、医学・農学・薬学・看護学分野において、先端的な研究を進めている研究者が、最新の研究成果を紹介し、人の「生命を育み」「まもり」、そして「生命をつなぐ」科学の将来展望と課題を明らかにする。本シンポジウムに参加するすべての人々が、生命科学の成果を共有し、「明日に向かって生命をつなぐ」人類の明るい未来を展望できればと願うものである。

13:00　開会の挨拶　　唐木　英明（日本学術会議第二部長）
　　日本学術会議会長挨拶　　金澤　一郎（日本学術会議会長）

13:15-15:15

１　生命を探る　　座長　小原　雄治

〇進化からみた人の過去・現在・未来
　斉藤　成也（国立遺伝学研究所教授、日本学術会議会員）

〇ゲノムから見たヒトの多様性と普遍性
　榊　佳之（理化学研究所ゲノム科学総合研究センター長、日本学術会議会員）

２　生命を育む　　座長　笹月　健彦

〇脳の発生発達とメンテナンス
　大隅　典子（東北大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

〇子どもの生命を育む；ヘルスリフォームとしての予防接種
　五十嵐　隆（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

15:30-17:30

３　生命をまもる；がんとの闘い　　座長　廣橋　説雄

〇わが国のがん対策－個人として　国として－

垣添　忠生（国立がんセンター名誉総長、日本学術会議会員）

〇がんの分子標的治療

鶴尾　隆（財団法人癌研究会癌化学療法センター所長、日本学術会議会員）

４　生命をつなぐ　　座長　矢野　秀雄

〇生命の重みの格差

南　裕子（兵庫県立大学副学長・教授、日本学術会議会員）

〇生命をつなぐ食

新山　陽子（京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議会員）

閉会あいさつ　北島　政樹（日本学術会議第二部副部長）

コーディネータ及び進行

加賀谷　淳子、中西　友子、春日　文子（日本学術会議会員）

※　参加費：無料、事前参加申込：不要

連絡先　日本学術会議事務局第二部担当
Tel：03-3403-1091

日本学術会議第二部冬季公開シンポジウム

「明日に向かって生命(いのち)をつなぐ–生命科学の最前線–」

平成 20 年 2 月 5 日（火）13:00 – 17:30　　日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34)

プログラム

13:00 開会の挨拶　　唐木英明　（日本学術会議第二部長）
　日本学術会議会長挨拶　　金澤一郎　（日本学術会議会長）

１．生命を探る　　座長　小原雄治
○進化からみた人の過去・現在・未来
　斉藤成也（国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門教授、日本学術会議会員）
○ゲノムから見たヒトの多様性と普遍性
　榊　佳之（理化学研究所ゲノム科学総合研究センター長、日本学術会議会員）

２．生命を育む　　座長　笹月健彦
○脳の発生発達とメンテナンス
　大隅典子（東北大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）
○子どもの生命を育む；ヘルスリフォームとしての予防接種
　五十嵐隆（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

３．生命をまもる；がんとの闘い　　座長　廣橋説雄
○わが国のがん対策–個人として　国として–
　垣添忠生（国立がんセンター名誉総長、日本学術会議会員）
○がんの分子標的治療
　鶴尾　隆（財団法人癌研究会癌化学療法センター所長、日本学術会議会員）

４．生命をつなぐ　　座長　矢野秀雄
○生命の重みの格差
　南　裕子（兵庫県立大学副学長・教授、日本学術会議会員）
○生命をつなぐ食
　新山陽子（京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議会員）

17:30 閉会の挨拶　　北島政樹　（日本学術会議第二部副部長）
コーディネータ及び進行　加賀谷淳子、中西友子、春日文子（日本学術会議会員）

後援；日本医歯薬アカデミー・
　　科学新聞社

連絡先：日本学術会議事務局第二部担当
電話 03-3403-1091

申し込み方法：参加は無料です。事前申し込みは不要です。先着 300 名様まで参加可能です。